

2022年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

筆記試験 中国語学中国文学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

成	
績	

2022年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

筆記試験 (中国語学中国文学 専攻分野)

1. 次の文章は『韋江州集』「補韋刺史傳」(南宋・沈作喆撰)から取ったものである。現代仮名遣いによる書き下し文、または、現代日本語訳のいずれかを記しなさい。なお、問題文は1頁から5頁までである。

韋應物京兆長安縣人也其家世自宇文周時孝寬以
 功名爲將相而其兄夏高尚不仕號爲逍遙公夏之孫
 待價仕隋爲左僕射封扶陽公待價生令儀爲唐司門
 郎中令儀生夔夔生應物少游太學當開元天寶間宿
 衛仗內親近帷幄行幸畢從頗任俠負氣洎漁陽兵亂
 後流落失職乃更折節讀書屏居武功之上方復返灑
 上園廬蕪沒貧無以自業客游江淮間所與交結皆一

時名士因從事河陽去爲京兆功曹攝高陵令永泰中
 遷洛陽丞兩軍騎士倚中貴人勢驕橫爲民害應物疾
 之痛繩以法被訟弗爲屈棄官養疾同德精舍起爲鄆
 令大曆十四年除櫟陽令復以疾謝去歸寓西郊擇勝
 隱於善福祠從諸生學問澹如也建中二年拜尚書比
 部員外郎明年出爲滁州刺史滁山川清遠山中多隱
 君子應物風流苴弟與其人覽觀賦詩郡以無事人安
 樂之四年十月德宗幸奉天應物自郡遣使間道奉問
 行在所明年興元甲子使還詔嘉其忠終更貧不能歸
 留居郡之南甍俄擢江州刺史居二歲召至京師貞元
 二年由左司郎中補外得蘇州刺史在郡延禮其秀民

撫其憫矣甚恩久之白居易自中書舍人出守吳門應
 物罷郡寓於郡之永定佛寺太和中以太僕少卿兼御
 史中丞為諸道鹽鐵轉運江淮留後年九十餘矣不知
 其所終有子曰慶復為監察御史河東節度掌書記應
 物性高潔善為詩氣質間妙渾然天成初若不用工而
 近世詩人莫及也白居易嘗語元稹曰喜蘇州歌行才
 麗之外深得諷諫之意而五言尤為高遠雅淡自成一
 家其為時人推重如此浮屠皎然者頗工近體詩嘗擬
 應物體格得數解為贊應物弗善也明日錄舊贊以見
 始被領畧曰人各有能有不能蓋自天分學力有限于
 而不為我且失其故步矣但以所詣自名可也皎然心

服焉應物鮮食寡欲所居焚香掃地而坐爲吳門時年
 已老矣而詩益造微世亦莫能知之也子沈子曰予讀
 韋蘇州詩超然簡遠有正始之風所謂朱絲疏絃一唱
 三嘆昔應物當開元天寶宿衛仗內爲郟刺史於建中
 以迄貞元而文宗太和中劉禹錫乃以故官舉之計其
 年九十餘而猶領轉輸劇職應物何壽而康也然自吳
 郡以後不復有詩文見於錄者豈亡之耶使應物而無
 死其所爲不當止此以應物爲終於吳郡之後則禹錫
 之所舉老猶無恙也蓋不可得而考也新唐書文藝傳
 稱應物有文在人間史逸其傳故不錄予旣愛其詩因
 考次其平生行義官代皆有憑藉始終可繫見如此恨

史官編摩疎陋耳嗟夫應物崎嶇身閱盛衰之變晚折
節學問今其詩徃往及治道而造理精深士固有悔而
能復厄而後奇者如應物而以自表見於後世豈偶然
哉

1. 進学後三年間の研究計画を、能うかぎり具体的に、固有名詞を用いつつ述べなさい。

